

空気中の繊維状粒子測定方法一  
第 1 部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	6.3.3 d) 式(3) ここに,	$Q$ : 吸引空気量 (L)	$Q$ : 吸引空気量 (L 又は $\text{cm}^3$ )
	6.3.4 式(4) ここに,	$C_F$ : 繊維数濃度 ( $\text{f/L}$ 又は $\text{f/cm}^3$ ) $N$ : 計数総繊維数 (f) $N_b$ : ブランク値 (f) $a_E$ : 1 画面の観察試料上での面積 ( $\text{mm}^2$ ) $Q$ : 吸引空気量 (L) $S$ : 必要な定量下限値 ( $\text{f/L}$ 又は $\text{f/cm}^3$ )	$C_F$ : 繊維数濃度 ( $\text{f/L}$ 又は $\text{f/cm}^3$ ) $A$ : フィルターの有効面積又はろ過面積 ( $\text{mm}^2$ ) $N$ : 計数繊維総数 (f) $N_b$ : ブランク値 (f) $a_E$ : 1 画面の観察試料上での面積 ( $\text{mm}^2$ ) $n_E$ : 必要な計数画面数 $Q$ : 吸引空気量 (L 又は $\text{cm}^3$ )
	6.3.5 a) 式(5) ここに,	$S$ : 必要な定量下限値 ( $\text{f/L}$ 又は $\text{f/cm}^3$ ) : $Q$ : 吸引空気量 (L)	$S$ : 定量下限値 ( $\text{f/L}$ 又は $\text{f/cm}^3$ ) : $Q$ : 吸引空気量 (L 又は $\text{cm}^3$ )
	b) 式(6) ここに,	$Q$ : 吸引空気量 (L)	$Q$ : 吸引空気量 (L 又は $\text{cm}^3$ )

平成 30 年 11 月 15 日作成